

地域運営学校



チャレンジを大切にできる学校

令和7年4月8日（火）
4月号
八王子市立別所小学校
校長 川村 守

別所小だよ

本校ホームページアドレス<https://hachioji-school.ed.jp/besse>
教育目標：『自分をのびします』『心をみがきます』『元気にすごします』

『自己実現への挑戦』で well-being な一年に！

校長 川村 守

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。

本日、新1年生44名が入学し、また2名の転入生を迎え、別所小学校259名の子どもたちが新たな一歩を踏み出しました。新しい学年、新しい友達や先生との出会いに、ドキドキ・ワクワクしながら、決意を新たにしたことと思います。その決意を大切に育てていながら、この一年間を充実したものにしてほしいと期待しているところです。



さて、年度当初にあたり、本校の教育目標をあらためてご紹介いたします。

《 学校教育目標 》

人間尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する

自分をのびします（知） ◎心をみがきます（徳） 元気にすごします（体）

重点教育目標を『心をみがきます』に設定し、『チャレンジを大切にできる学校』のさらなる実現を目指していきます。

・・・私はもともと、失敗するリスクがあるのにチャレンジをする意味が分からなかった。「失敗してしまうかもしれないのなら、はじめからやらなければいい」と思っていたのだ。（中略）できた瞬間、言葉にならないほどの嬉しさがこみ上げてきた。そして、校長先生の「チャレンジは自分を成長させるチャンスなんです！」という言葉の意味を実感できたとても良い経験となった。この経験を生かし、私はこの先もいろいろなことにチャレンジできる人になりたい・・・

これは、先日卒業した昨年度の6年生が卒業文集に書いた文章（許可を得て一部抜粋）です。

全員の卒業文集を読んでいると、「チャレンジ」という言葉が文中に何度も出てきました。数えてみたところ、なんと88回も使われていて、とても驚きました。様々なシーンで前向きに頑張っていた前6年生でしたが、ここまで「チャレンジ」を意識して取り組んでくれていたことにあらためて感服するとともに、子どもたちの生きる軸として本校の理念「チャレンジ」が浸透していたことに大きな喜びを感じる瞬間でもありました。

慶応義塾大学の前野隆司教授によれば、「やってみよう」という姿勢は、幸福度を高めるための最重要因子であるとのこと。前野教授の **well-being** の研究を参考にしながら、本校では、子どもたちが「なりたい自分」に向かって学び、挑戦し、そして成長できる喜び（幸せ）を味わえる場所でありたいと思っています。

自己実現に向けたチャレンジを通して、子どもたちの“幸せ”づくりのサポートに全力を尽くす！

これが、今年度の本校教職員全員の決意であります。

最後になりますが、今年度も保護者・地域の皆さんとは、子どもたちの成長と一緒に応援していける仲間でありたいと思っています。引き続き本校へのご理解・ご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 学校経営方針について

今年度の学校経営方針は、本校ホームページに掲載をいたしますので、ご確認をお願いします。
ここでは、プレアナウンスとして、学校経営のグランドデザインとイメージ図を掲載いたします。

今年度のグランドデザイン

《学校像》

地域運営学校として、学校・保護者・地域の連携を深め、地域とともにある学校づくりを目指す
小中一貫校として、秋葉台小学校・別所中学校と共に9年間を見通した子どもたちの育成を目指す

～ 自己実現に向けて ～ チャレンジを大切にする学校

子どもたちが「なりたい自分」に向けた挑戦をしていくなかで、自己実現に近づけた喜びを感じることができる **well-being** な学び舎にしていく。また、ふるさと意識の醸成をさらに高めていく。

《子ども像》

将来を担う人材として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもを育成する

学校教育目標

◎は重点目標

◎心をみがきます（徳）

勇気と思いやりのある子ども

- ・「なりたい自分」に向けて自己肯定感と自律心を高めることができる
- ・挑戦意欲とレジリエンスをセットで大切にできる
- ・他者への感謝と自分が役立つ喜びがもてる
- ・郷土愛を高めることができる

自分をのびします（知）

自分から進んで学ぶ子ども

- ・自ら進んで学習し、学ぶ喜びを感じながら自分を高めることができる
- ・自分の考えをもち、他者と相互に学び合い、練り上げた考えを表現することができる
- ・基礎基本内容を使って、課題解決に取り組むことができる

元気にすごします（体）

体をきたえる子ども

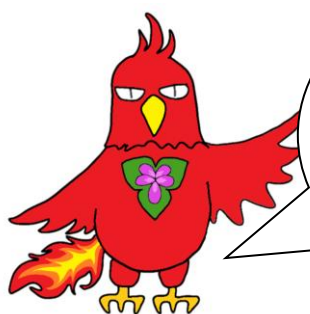
- ・自分と向き合い、自分の心身への気づきをもち、元気に前向きに過ごすことができる
- ・集団活動を通して、進んで運動に親しむことができる
- ・安全衛生（特にコロナ対策）や食事に興味をもち、健康な生活に向けて自分から実践できる

《教師像》

- 教育公務員としての責任と自覚をもち、子ども・保護者・地域から信頼される教師
- 自己研鑽に励み、児童理解に基づいた指導により、子どもの成長を引き出すことのできる教師
- ◎教育課題の解決に向け、ONE TEAM の意識をもち、連携しながら組織的に対応ができる教師

ONE TEAM の合言葉

- ①「健康・安全・人権なくして教育なし」。一枚岩のリスクマネジメントができる組織
- ②「教師がもえれば子どもがもえる、子どもがもえれば学校がもえる」。熱意のある組織
- ③「3つのワーク(ネットワーク・フットワーク・チームワーク)を大事に」。機動力のある組織。



本校キャラクター：フェニックスくん

左図は、令和3年度に30周年記念として子どもたちが作成したSBGsです。本校がよりよい学校としていつまでも持続していくための13のポイントが書かれています。今年度も意識して取り組んでいきます。



～ 自己実現に向けて ～ 「チャレンジを大切にする学校」



八王子市の小中一貫教育は、『ビジョン はちおうじの教育』に基づき、次の基本方針を掲げ、推進します。

心身ともに健康で、自ら考え行動できる、
社会性・人間性豊かな児童・生徒

全国一律、一定水準の学力を身に付けさせるという公立学校としての共通の原則目標を達成するとともに、小中一貫教育グループの実情に応じた地域とともにある学校としての個別目標を実現する小中一貫教育を推進します。

八王子市 小中一貫教育に関する基本方針

心身ともに健康で、自ら考え行動できる、社会性・人間性豊かな児童・生徒の育成をめざし、義務教育9年間を見通して、学校、家庭、地域が協働した小中一貫教育を行います。

- ①全ての小中一貫教育グループで共通に取り組む小中一貫教育を基盤とし、各学校や地域の特色を活かした教育活動を行います。
- ②市立学校の教員が相互に連携・協力して児童・生徒理解を深め、心身の発達段階に応じたきめ細かな指導を充実させ、学力の定着と学校生活への適応力の向上を図ります。
- ③学習指導要領に基づき義務教育9年間を見通した学習指導を進めるとともに、誰一人取り残さず義務教育修了段階の学力保障に向けた取組を実施します。
- ④保護者や地域の方々が学校運営に積極的に参画する地域運営学校として、それぞれの地域の特色を活かした取組を促進します。

上のイメージ図は、別所小学校の推進力を表わしています。それぞれの領域での取組をしっかりと噛み合わせていくことで、大きな動力にしていきたいと考えています。

右枠は、本市の小中一貫教育の基本方針です。秋葉台小学校と別所中学校とともに、取り組みを充実させていきます。



SC：スクールカウンセラー来校
放：放課後子ども教室

日	曜	朝の学習	行事予定	SC 放課後子 ども教室
7	月		始業式	SC
8	火		入学式	
9	水	朝読書	給食始 定期健康診断始 みずき保護者会	
10	木			
11	金	朝学習	安全指導 計測(全) 封筒回収 地域巡り①	
12	土			
13	日			
14	月	児童朝会	1年生の給食始 視力(3) 保護者会(5・6) 地域巡り②	SC
15	火		1年生を迎える会 視力(2) 委員会①	
16	水		視力(1) 書類回収(放) みずき教室指導始内科健診(6・お) ALT	
17	木		全国学力調査(6) 歯科(1・3・5) 保護者会(1・2・お) 地域巡り③	
18	金	朝学習	視力(4) 保護者会(3・4) 地域巡り④	
19	土			
20	日			
21	月	児童朝会	尿検査配布 視力(5・6) 特別時程 避難訓練 地区班別一斉下校	SC
22	火		尿検査回収 クラブ① 視力(お) 交通安全教室(1)	
23	水		眼科(全)	放
24	木	委員会 紹介集会	内科健診(2・3・4) 心臓(1・該当者)	
25	金	朝学習	遠足(3・4) 内科(1・5) 聴力(1・2・5)	
26	土		学校公開 セーフティ教室(全)	
27	日			
28	月		振替休業日	
29	火		昭和の日	
30	水	朝読書	遠足予備日(3・4) 聴力(3・お)	放